

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-223	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	古探 212-901 古探 212-902	探求 古典探究 古文編 改訂版 探求 古典探究 漢文編 改訂版		

1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、高等学校学習指導要領「古典探究」に準拠して編修した教科書である。教育基本法第2条にある目標と「古典探究」の目標の両方の達成を可能にするため、言語を通して伝え合う力を高め、思考力・判断力・表現力を育成しつつ国語力を高められるよう、題材の選定と学習内容の構成・展開に留意した。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、以下の点を編修の基本方針とした。

①指導しやすい2分冊形態と単元構成

多様な教育現場の学力レベルと指導形態に対応できるよう「古文編」「漢文編」の2分冊とした。さらに「古文編」「漢文編」をそれぞれ「Ⅰ部」「Ⅱ部」の2部構成とし、ジャンル別単元とした。また、この2部構成での学習を円滑に進めるための導入部として、冒頭に「〈知〉のコミュニティへ」を設置した。

②教材の配置と学習の指針

各教材は、内容のまとまり・指導の時間数を考慮したうえで適切な分量の優れたものを精選した。また、学習上・指導上の効果を考慮して、より易しいものから難しいものへと配列した。各教材の末尾には、「読解」「表現」「発展」の問題から成る「学習の手引き」を設けるとともに、各教材における最終的な言語活動の到達目標を示す「活動」を設定し、学習の指針となるようにした。

③教材の理解と主体的な言語活動

学習者の理解力養成のため、各教材の本文下段には内容理解を促す小問を付したほか、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」問題を必ず設けた。さらに、主体的な学びに誘うための言語活動を各教材に設けた。言語活動のうち、「古典探究」の科目の特性を生かした発展的な活動については、「活動のプロセス」を配置・設定した。そのほか、言葉の特徴や使い方、言語文化に関する知識の学習に資するよう、「古文編」では重要古語を、「漢文編」では基本句形を、各教材の本文下段にまとめた。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
● 〈知〉のコミュニティへ 「古典のことばを読み 深める 一中古・中世・ 近世の作品から」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、古典作品の世界により深く分け入る教材として、伊勢物語「鶉」、平家物語「福原落」、あつめ句(芭蕉)「はつゆきや」を配した(第5号)。	①古文編 10～13 ページ
● 古文編 Ⅰ部 8 単元 Ⅱ部 8 単元	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、古文編Ⅰ部に8単元、Ⅱ部に8単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第1号)。	①古文編 14～157 ページ 172～297 ページ

	②伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、古文編Ⅰ部に8単元、Ⅱ部に8単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第5号)。	②古文編 14～157 ページ 172～297 ページ
●古文編 Ⅰ部「随筆Ⅰ」単元	①古文編Ⅰ部に「随筆Ⅰ」単元を設け、個人の生き方を考える7教材を配した(第2号)。	①古文編 22～37 ページ
●古文編 Ⅰ部「随筆Ⅱ」単元	①古文編Ⅰ部に「随筆Ⅱ」単元を設け、自然と環境を考える4教材を配した(第4号)。	①古文編 66～73 ページ
●古文編 Ⅱ部「随筆」単元	①古文編Ⅱ部に「随筆」単元を設け、自然と環境を考える4教材を配した(第4号)。	①古文編 172～181 ページ
●古文編 Ⅱ部「日記」単元	①古文編Ⅱ部に「日記」単元を設け、女性の生き方を考える8教材を配した(第3号)。	①古文編 182～201 ページ
●古文編 Ⅰ部 小林秀雄「平家物語」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、古文編Ⅰ部に古文を現代からの視点で読み解く教材「平家物語」を配した(第5号)。	①古文編 100～105 ページ
●古文編 Ⅰ部「私たちの古典受容 一訳から広がる新しい 世界一」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、古文編Ⅰ部に「私たちの古典受容 一訳から広がる新しい世界一」を設け、2教材を配した(第5号)。	①古文編 142～143 ページ
●古文編 Ⅰ部「古文解析」	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、古文編Ⅰ部に「古文解析」を設け、2教材を配した(第1号)。	①古文編 158～161 ページ
●古文編 Ⅰ部「文法の要点」1～3	①伝統と文化を尊重する態度を養い、文語の決まりや表現の特色などへの理解を深められるよう、古文編Ⅰ部に「文法の要点」1～3を設けた(第5号)。	①古文編 162～170 ページ
●〈知〉のコミュニティへ 「古典のことばを読み 深める 一漢詩・寓話・ 故事を通じて一」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、古典作品の世界により深く分け入る教材として、「新晴」、「蜂針人熊」、「不以私事害公義」を配した(第5号)。	①漢文編 10～13 ページ
●漢文編 Ⅰ部7単元 Ⅱ部8単元	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、漢文編Ⅰ部に7単元、Ⅱ部に8単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第1号)。 ②伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、漢文編Ⅰ部に7単元、Ⅱ部に8単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第5号)。	①漢文編 14～95 ページ 100～187 ページ ②漢文編 14～95 ページ 100～187 ページ

●漢文編 I部「故事・寓話」「思想」 単元	①漢文編I部に「故事・寓話」「思想」単元を設け、 個人の生き方を考える12教材を配した(第2号)。	①漢文編 14～22 ページ 83～95 ページ
●漢文編 II部「史伝I」「史伝II」 単元	①漢文編II部に「史伝I」「史伝II」単元を設け、個人 と他者との関係を考える7教材を配した(第3 号)。	①漢文編 108～113 ページ 154～171 ページ
●漢文編 II部「思想」単元	①漢文編II部に「思想」単元を設け、個人の生き方 を考える9教材を配した(第2号)。 ②漢文編II部に「思想」単元を設け、生命と自然を 考える9教材を配した(第4号)。	①漢文編 172～183 ページ ②漢文編 172～183 ページ
●漢文編 I部「私たちの古典受容 一訳から広がる新しい 世界一」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語 文化への興味・関心を広げられるよう、漢文編I部 に「私たちの古典受容 一訳から広がる新しい世界 一」を設け、2教材を配した(第5号)。	①漢文編 54～55 ページ
●漢文編 I部「漢文解析」	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度 を養えるよう、漢文編I部に「漢文解析」を設け、 3教材を配した(第1号)。	①漢文編 96～98 ページ

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・「古典探究」の科目の特性を生かした発展的な活動については、「活動のプロセス」を配置・設定した。
- ・一般的な教養を高めるとともに、専門的な知見に触れられるよう、「古文編」に「コラム(1～5)」、「漢文編」に「コラム(1・2)」を設けた。
- ・本文から見えてくる当時の世界観を解説した「古典世界ビュー」を、「古文編」I部の7教材に、「漢文編」I部の6教材に設けた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-223	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	古探 212-901 古探 212-902	探求 古典探究	古文編 改訂版 漢文編 改訂版	

1. 編修上特に意を用いた点や特色

個々の教材の採録にあたっては、全体として、学習指導要領の「2内容」の各事項に沿った指導ができるよう、優れた表現と構成を持ち、主題や内容が明確で、適度な長さのものを厳選した。また、本文の学習をより深め、補佐するための資料として、「古文編」に「文法の要点」「コラム(1~5)」を、「漢文編」に「コラム(1・2)」を、「古文編」「漢文編」のそれぞれの巻頭巻末に「付録」を設けた。

2. 対照表

図書の構成・内容		教材名	該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容	
編	単元			知識及び技能	A 読むこと
古文編 I部	ミ ヘ ニ テ の イ コ	古典のことばを読み深める 一中古・中世・近世の作品から一 鶉〔伊勢物語〕／福原落〔平家物語〕／はつゆきや〔あつめ句〕	10~13	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
	説話	宇治拾遺物語 歌詠みて罪を許さるること	14~16	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		古今著聞集 衣のたて	17~18	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウキ
		沙石集 勘解由小路の地蔵	19~21	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
	随筆 I	徒然草 あだし野の露消ゆるときなく	22~23	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウカ
		徒然草 家居のつきづきしく	24~25	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウカ
		徒然草 これも仁和寺の法師	26~27	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウカ
		徒然草 ある者、子を法師になして	28~29	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		徒然草 主ある家には	30~31	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオカ
		方丈記 行く川の流れ	32~33	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ
	物語と日記	方丈記 安元の大火・治承のつじ風	34~37	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		竹取物語 天の羽衣	38~42	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		伊勢物語 初冠	42~43	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ
		伊勢物語 月やあらぬ	44~45	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		伊勢物語 行く蛍	46~47	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		伊勢物語 狩りの使ひ	48~50	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		比較で深める1 君や来しわれや行きけむ〔古今和歌集〕	51	(1)アイエ(2)アイウエ	(1)アイエ
		伊勢物語 つひに行く道	52	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ
		大和物語 姨捨	53~55	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		比較で深める2 夜もすがら月を見て、ながめける歌〔俊頼髓脳〕	56	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
		更級日記 門出	58~59	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオク
		更級日記 物語	60~63	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ
		コラム1 女手(平仮名)と平安時代の文学	64~65	(2)アウエ	—
	随筆 II	枕草子 うつくしきもの	66~67	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		枕草子 木の花は	68~70	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		枕草子 中納言参りたまひて	70~71	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
枕草子 雪のいと高う降りたるを		72~73	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	

図書の構成・内容		該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容		
編	単元		教材名	知識及び技能	A 読むこと
古文編 Ⅰ部	歴史と軍記	大鏡 雲林院の菩提講	74～77	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		大鏡 花山院の出家	78～80	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		大鏡 三船の才	81～82	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエオ
		大鏡 道長と伊周の競射	83～85	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ
		構成と概観「平家物語」	86～87	(2)アウエ	—
		平家物語 忠度の都落ち	88～91	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ
		平家物語 宇治川の先陣	92～96	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		平家物語 先帝入水	96～99	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ
		小林秀雄「平家物語」	100～105	(2)アウエ	(1)オカキク
	物語	構成と概観「源氏物語」	106～107	(2)アウエ	—
		源氏物語 光源氏の誕生	108～111	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		源氏物語 光源氏と藤壺	112～113	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		源氏物語 若紫との出会い	114～118	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		コラム2 海を越える『源氏物語』	120	(2)アウエ	—
	和歌と俳諧	和歌 春秋／恋／離別・旅・哀傷	121～128	(1)アイエ(2)アイウエ	(1)カキク
		活動のプロセス1 和歌の魅力を伝える	130	(1)アエ(2)アイエ	(1)ウオキ
		俳諧 発句	131～134	(1)アイエ(2)アウエ	(1)カキク
		比較で深める3 俳諧の誠〔三冊子〕	135	(1)アイウエ(2)アイエ	(1)アイエク
		俳諧 連句	136～139	(1)アイエ(2)アウエ	(1)イカキク
		活動のプロセス2 〈座〉の文芸 連句を楽しむ	140～141	(1)アイエ(2)アウエ	(1)キク
	私たちの古典受容	①難波湯…〔小倉百人一首・伊勢〕／②立石寺〔奥の細道(芭蕉)〕	142～143	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウク
	近世文学	日本永代蔵 世界の借屋大将	144～149	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイオカ
		コラム3 守銭奴から商人の鑑へ	150	(2)アウエ	—
		雨月物語 浅茅が宿	151～157	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイウキ
	古文解析	解析① 継母との別れ〔更級日記〕	158～159	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		解析② 旧都の月〔平家物語〕	160～161	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
	文法の要点	●文法の要点1 識別	162～165	(1)ア	—
		●文法の要点2 敬語	166～167	(1)ア	—
		●文法の要点3 和歌	168～170	(1)エ	—
	古文編 Ⅱ部	随筆	枕草子 すさまじきもの	172～174	(1)アイウエ(2)アイウエ
枕草子 野分のまたの日こそ			175～177	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウカ
枕草子 二月つごもりごろに			178～179	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
枕草子 大納言殿参りたまひて			180～181	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ
日記		蜻蛉日記 嘆きつつひとり寝る夜	182～184	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエキ
		蜻蛉日記 鷹を放つ	184～186	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		和泉式部日記 夢よりもはかなき世の中を	187～189	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウク
		和泉式部日記 有明の月に	190～192	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ
		紫式部日記 水鳥に思いよそえて	193～194	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ
		紫式部日記 日本紀の御局	195～197	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
		建礼門院右京大夫集 かかる夢見ぬ人やいひけむ	198～199	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		建礼門院右京大夫集 今や夢昔や夢と	200～201	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ

図書の構成・内容		該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容		
編	単元		教材名	知識及び技能	A 読むこと
古文編 Ⅱ部	物語	源氏物語 藤壺の里下がり	202～206	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		源氏物語 葵上と物の怪	207～211	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		源氏物語 柏木と女三宮	212～216	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		源氏物語 紫上の死	217～220	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウカ
		コラム4 原文を読み解く魅力	221	(2)アウエ	—
		源氏物語 匂宮と浮舟	222～226	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		堤中納言物語 虫めづる姫君	227～229	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		活動のプロセス3 古典作品における価値観を探る	230～231	(1)アイ(2)アイエ	(1)アエオカ
		松浦宮物語 梅里の一夜	232～235	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
	評論Ⅰ	古今和歌集仮名序 やまと歌は	236～237	(1)アイウエ	(1)アイク
		俊頼髓脳 和歌の効用	237～239	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		無名抄 俊成自賛歌のこと	240～242	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウク
		去来抄 行く春を	243～244	(1)アイウエ	(1)アイカク
		去来抄 岩鼻や	244～246	(1)アイウエ	(1)アイキク
	歴史と伝説	三冊子 師の風雅	247～249	(1)アイウエ	(1)アイエク
		大鏡 菅原道真の左遷	250～254	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		大鏡 道長の豪胆	254～258	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
	評論Ⅱ	古事記 倭建命	259～263	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイカキ
		無名草子 小野小町	264～266	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオキ
		風姿花伝 秘する花を知ること	267～269	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカキ
		難波土産 虚実皮膜の論	270～272	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイカク
		玉勝間 師の説になづまざること	272～275	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		源氏物語玉の小櫛 もののあはれ	276～277	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
	近世の文章・戯曲・和歌	柴門の辞 風雅の道	278～280	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイウカ
		おらが春 娘 さと	280～282	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイウ
		雲萍雑誌 堪忍	282～284	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイカ
		曾根崎心中 徳兵衛お初道行	285～287	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイカク
		近世和歌	288～289	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイク
		狂歌	290	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイエク
	古典世界の夜	コラム5 国語教科書の源流—「往来物」の話	291	(2)アウエ	—
		星の夜の深きあはれ〔建礼門院右京大夫集〕	292～293	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイオ
		天下怪異のこと〔太平記〕	294～295	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイオ
漢文編 Ⅰ部	ミ ニ コ 知 テ イ コ	夜空を詠んだ和歌・俳諧	296～297	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイオ
		古典のことばを読み深める —漢詩・寓話・故事を通じて— 新晴／蜂針人熊／不以私事害公義	10～13	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		画竜点睛	14	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		漱石枕流	15	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエク
		病入膏肓	16～17	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		梁上君子	17～18	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		先従隗始	19～20	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
	杞憂	20～21	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ	
	史伝Ⅰ	赤壁の戦い	23～26	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		比較で深める1 赤壁	27	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
構成と概観「史記」		28～29	(2)アウエ	—	
		背水の陣	30～32	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオク

図書構成・内容			該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容		
編	単元	教材名		知識及び技能	A 読むこと	
漢文編 I部	詩	絶句 秋風引(劉禹錫)	34	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイエキ	
		絶句 雑詩(王維)	35	(1)アイエ(2)アイウエ	(1)アイエキ	
		絶句 望廬山瀑布(李白)	36	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイエキ	
		絶句 芙蓉楼送辛漸(王昌齡)	37	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイエキ	
		律詩 臨洞庭(孟浩然)	38	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイエキ	
		律詩 登高(杜甫)	39	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイエキ	
		活動のプロセス1 漢詩の鑑賞文を書く	40~41	(1)アイエ(2)アイエ	(1)イウキ	
		古体詩 桃夭	42	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		古体詩 行行重行行(無名氏)	43	(1)アイエ(2)アイウエ	(1)アイキ	
		古体詩 七步詩(曹植)	44	(1)アイエ(2)アイウエ	(1)アイキ	
	古体詩 勅勒歌(無名氏)	44~45	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ		
	日本の漢文	対花懐昔(義堂周信)	47	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		題不識庵撃機山図(頼山陽)	48	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		夏夜(江馬細香)	49	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		思君(中野道遙)	50	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		コラム1 日本漢詩一模倣から創作、そして鑑賞する古典へ	51	(2)アウエ	—	
		川中島の戦い(頼山陽)	52~53	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイウオ	
	私たちの古典受容		①白居易「村夜」/②陸游「泛瑞安江風濤貼然」	54~55	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウク
	文章	春夜宴桃李園序(李白)	56~57	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク	
		桃花源記(陶潜)	58~61	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ	
		師説(韓愈)	62~64	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ	
	史伝II	鴻門之会 (一)沛公、項王に見ゆ	65~67	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ	
		鴻門之会 (二)樊噲、頭髮上指す	68~69	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ	
		鴻門之会 (三)臣死すら且つ避けず	70~71	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ	
		鴻門之会 (四)沛公、車騎を置きて脱す	72~73	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ	
		鴻門之会 (五)豎子、与に謀るに足らず	74~75	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ	
		比較で深める2 留侯論[文章軌範]/范増論[文章軌範]	76~77	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエク	
		四面楚歌 (一)項王、悲歌忼慨す	78~80	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
	四面楚歌 (二)項王、自刎して死す	80~82	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ		
	思想	論語	83~85	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
		孟子 四端	86~87	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
		孟子 性善	87~88	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
		荀子 学不可以已	89~90	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオク	
		荀子 星隊木鳴	90~91	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオク	
		荀子 性悪	91~92	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオク	
		活動のプロセス2 「性善説」「性悪説」をもとに考える	94~95	(1)アイウエ(2)アイエ	(1)アイウオ	
	漢文解析	解析① 人主者以刑徳制臣[韓非子]	96	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
		解析② 教学相長也[礼記]	97	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
		解析③ 聖人治天下[孟子]	98	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
	漢文編 II部	逸話	不顧後患	100~101	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
			孔明臥竜	102~103	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
			三横	104~105	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
			江南橋為江北枳	106~107	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
史伝I	荆軻	108~110	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエキ		
	子路(司馬遷)	111~113	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエク		

図書構成・内容			該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容	
編	単元	教材名		知識及び技能	A 読むこと
漢文編 Ⅱ部	詩	月下独酌 (李白)	114～115	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイキ
		兵車行 (杜甫)	116～118	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
		長恨歌 (白居易)	119～126	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイキ
		コラム2 「長恨歌」と紫式部—白詩受容の展開	127	(2)アウエ	—
	文章	漁父辞 (屈原)	128～130	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		捕蛇者説 (柳宗元)	131～134	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		岳陽楼記 (范仲淹)	134～137	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイキ
		売柑者言 (劉基)	138～140	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
	伝奇小説	人面桃花 (孟榮)	141～144	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		種梨 (蒲松齡)	144～147	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		三夢記 (白行簡)	148～153	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイキク
	史伝Ⅱ	廉頗と藺相如 (一)璧を完うして趙に帰る	154～158	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		廉頗と藺相如 (二)澠池の会	158～161	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		廉頗と藺相如 (三)刎頸の交はり	161～163	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		蘇武と李陵 (一)蘇武、南に郷かひて号哭し血を飲く	164～168	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
		蘇武と李陵 (二)李陵、遂に匈奴に死せり	168～171	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエク
	思想	老子 無用之用	172	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオカ
		老子 大道廃有仁義	172～173	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオカ
		莊子 蝴蝶之夢	173～174	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオカ
		莊子 渾沌	174	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオカ
		莊子 言、大而無用	175～176	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオカ
		韓非子 侵官之害	176～177	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエカ
		韓非子 処知則難	178～179	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエカ
		墨子 非攻	180～182	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		性非学者之所急 (荻生徂徠)	182～183	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカウ
	政治と人間	以無事取天下 [老子]	184～185	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエカ
		不能与君陷難 [説苑]	185～186	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエカ
		路不拾遺 [十八史略]	186～187	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエカ